

中小企業地域資源  
活用促進法に基づく



**ふるさと名物**  
Furusato Meibutsu

わが市町村の  
ふるさと名物は  
**これ!**



大山登山の様子

**鳥取県大山町**  
が応援するふるさと名物

「大山ツーリズム」  
～大山の恵みを生かし  
新たな価値を創造する～



大山夏山開き祭  
前夜祭「たいまつ行列」の様子



大山に住むとされる「からす天狗」像と大山





ふるさと名物  
Furusato Meibutsu

応援宣言

## 鳥取県大山町

地域の  
プロフィール



鳥取県西部に位置する大山町は、南北わずか20kmの間に日本海から中国地方最高峰大山の頂を含み、海(0m)と山(1729m)、双方の恵みをたっぷりいただいた自然豊かな立地です。

主な産業は、農業・漁業・観光業であり、大山の火山活動に由来する肥沃な黒ボク土と、日本海にまで至るミネラルをたっぷり含んだ水が育む農水産品やその加工品は、まさに「大山の恵み」そのものです。

観光の中心は、「大山隠岐国立公園」のシンボルであり、古代より人々を魅了し続けてきた「大山」です。大山に残る手付かずの自然や遺された史跡の数々、独自の文化風習は人々を惹きつけてやみません。また、山裾に広がる田園風景や海沿いの地域で暮らす人々の営みも大山町のもつ魅力の一つです。



町の木「ダイセンキヤラボク」



町の花  
「ハマナス」  
※自生南限  
地帯とされる



新緑の大山



「食の恵み」が  
集まる道の駅

# ふるさと名物の内容

## 1

### 主な地域資源

平成30年の山の日に合わせて「第3回『山の日』記念全国大会」が大山を主会場に行われます。自然保護憲章発祥の地である「自然を守る聖地・大山」から、自然保護の重要性・普遍性ととも、山と共に生きる意義をアピールする大会となります。



ブナの原生林

## ◆大山（だいせん）～自然の恵み～

大山は、昭和11年に日本で3番目の国立公園に指定されました（指定当時は「大山国立公園」）。その後、隠岐の島地域や三徳山地域などを編入し、現在は「大山隠岐国立公園」のシンボルとなっています。標高1,729m(剣ヶ峰)を誇る中国地方最高峰であり、活発な火山活動によって形成された成層火山です。日本海に近い独立峰という特性上、冬期間中は標高以上に過酷な環境の山としても知られています。

山岳信仰の霊場として近代までごく一部を除き入山が制限されてきたことから、西日本最大級のブナ原生林が育まれ、全国に誇る名水が採水できるなど、今日に至るまで希少な自然環境が守られています。

## ◇四季折々の魅力と楽しさに溢れる山

### ●人気のアクティビティ「登山」

日帰りが可能ながら本格的な登山の醍醐味を楽しむことができます。山頂からの雄大な眺望はもちろん、貴重な野鳥や昆虫、高山植物との出会いなど、大山の自然の魅力を存分に体感できます。

### ●自然のアート「大山の紅葉」

山麓の森が朱やオレンジ、黄色に染まる錦の紅葉絵巻は日本でも屈指の美しさを誇ります。毎年10月20日から11月5日に開催される大山紅葉祭り期間中には、全国から多くの観光客が大山を訪れます。

### ●白銀の世界を楽しむ「スノースポーツ」

背後には雄々しい北壁、眼下には日本海の大パノラマ…。そんな最高のロケーションを有するスキー・スノーボードゲレンデ「だいせんホワイトリゾート」は、西日本最大の規模を誇ります。最近では積雪の森を歩くスノーシューも人気のアクティビティとなっています。



海が見えるゲレンデ「だいせんホワイトリゾート」



# ふるさと名物の内容

## 1

### 主な地域資源

平成30年は、伯耆国「大山開山1300年祭」として、年間を通して大山山麓の各所で様々なイベントや取り組みが行われます。



伯耆国「大山開山」1300年祭

## ◆大山（だいせん）～文化歴史～

大山の地域資源としての魅力は「自然の恵み」だけではありません。出雲風土記「国引き神話」にも登場するように、古代より地域のランドマークとして親しまれ、人々を引き付けてきたが故に多くの史跡が残り、周辺地域の文化形成にも大きな影響を及ぼしました。近年ではさらに、日本遺産認定の中心に位置づけられるなど、文化的な魅力も一層見直されています。開山1300年を迎える平成30年には、町内外で様々なイベントや取り組みが予定されており、大山の魅力をより広く発信していくことが期待されています。

### ◇日本遺産「大山」のストーリー

#### ～地蔵信仰が育んだ日本最大の大山牛馬市～

大山寺に祀られる地蔵菩薩は山頂の池から現れたとされ、水を恵み、生きとし生けるものすべてを救うとされる仏さまです。この「大山信仰」へとつながる大山独特の地蔵信仰が元となって発展した牛馬市は、明治時代中頃には年間1万頭以上の牛馬が商われる日本国内最大の牛馬市となりました。

このストーリーは、奈良時代から現代に至るまでの時の流れが、大山の山中や大山町内にとどまらず、広く山麓地域を含めて語られています。それ故にストーリーを構成する文化財も建造物や生活様式、食文化、民俗や風習などが広範に結びつけられています。

### ●日本遺産の構成文化財

大神山神社奥宮、大山寺本堂、大山道、大山町所子伝統的建造物群保存地区、大山おこわと大山そば、もひとり神事など



大神山神社奥宮



重要伝統的建造物群保存地区  
「所子地区」

西方から望む大山  
「伯耆富士」

## 2

### ふるさと名物

## ◆大山ツーリズム

～大山の恵みを生かし、新たな価値を創造する～

大山町には、大山の頂上から日本海まで表情豊かな自然資源があります。また、文化財などの歴史的、文化的な資源も多く残されています。そして、大山と共にこの地で暮らす人々の営みにより、日々新たな資源が産み出されています。スキーやサイクリング、トレッキングなどの種々のアクティビティ、ブナの森や清冽な水、美しい星空、希少な動植物などの素晴らしさを肌で感じる自然体験、大山寺などで行われる座禅やヨガ、史跡散策、祭事への参加などの歴史文化体験、農業体験や漁業体験、またこれらの体験や民泊などを通じた地域の人々との交流と食体験など、魅力ある地域資源を活かし、複合的に組み合わせた体験型・滞在型・交流型観光「大山ツーリズム」の活性化を目指します。そして、この取り組みを進めることにより新たな価値（資源）を生み出す活動を応援します。



大山御幸(春季大祭)  
御輿行列



スノーシュー体験

江戸時代後期の大山博労座の様子



「博労座」牛馬絵図(伝歌川広重作扇絵)



大山の「食の恵み」



## 2

### ふるさとと名物

## ◆「大山ツーリズム」の実践例

### ◇ダウンヒルサイクリングツアー

「ダウンヒルサイクリング」と大山の「自然環境」、「歴史文化」、「食」の体験メニューを組み合わせた着地型・体験型の観光ツアー。標高900mの大山山腹からスタートし、海拔0mの日本海を目指します。途中、大山町内の名所や名跡に立ち寄り、ガイドの解説を受けてその魅力をより深く体感することができます。宿泊は海沿いの地区のゲストハウスにて民泊の体験もできます。地元の人たちとの交流もツアーの魅力のひとつです。

### ◇ダウンヒルサイクリング

標高900mの大山山腹から海拔0mの日本海まで自転車で一気に下る人気のアクティビティ。実施する季節により立ち寄る場所や食に変化をつけることにより、四季折々の「大山の恵み」を肌で感じることができる。



大山から日本海へ「ダウンヒルサイクリング」の様子

### ◇漁村地区での民泊

旬の地元食材を使って自ら調理したり、地元の人たちとの文化交流を体験できるなど、民泊を通して、より深く「大山の恵み」とその魅力を感じることができる。



日本海と御来屋地区の町並み

### ◇時季に応じた様々な体験メニュー



トレッキング

日本海を望む雄大な眺望のなか、西日本最大級のブナ林や清流を巡るトレッキング（自然体験）



座禅体験

阿弥陀堂（大山寺塔頭）での座禅体験や山林に佇む寺院や史跡、古道の散策（歴史文化体験）



大山おこわと大山そば

中世から大山で栄養源として食べられていた「ごま豆腐」などの精進料理や大山おこわ、大山そば、などの体験（食の恵み体験）



香取村 ミルクプラント

乳製品工場の見学、米、梨、ブロッコリー、白ネギ等生産農家での農業体験（自然体験・食の恵み体験）

## 3

### 関連する地域資源①

#### ◆大山寺 (だいせんじ)

古来より山岳信仰の対象とされ修験の山であった大山に、養老2年（718年）、地蔵菩薩を祀る草庵を結んだことが大山寺の始まりとされます。

鎌倉時代から平安時代にかけて隆盛を極めた天台宗の古刹で、往時は100を超える寺院と3000人以上の僧兵をかかえていました。平成30年に開山1300年を迎えます。



大山寺本堂

#### ◆大山の伏流水



清冽な水の流れ(川床)

大山に注ぐ雨や雪はゆっくりとブナの森に浸透し、さらに長い年月をかけて濾過され、ミネラルをたっぷり含んだ水は、やがて全国に誇る名水となります。

この「大山の伏流水」は至る所で湧き出しては田畑を潤し、日本海に流れ込む水は海までをも生命のゆりかごとしてくれます。「大山の恵み」は、この水によって育まれています。

#### ◆大山の土

水と共に大山の恵みを支えるのがこの「大山の土」です。かつての大山の活発な火山活動に由来する「黒ボク」と呼ばれる肥沃な大地は、様々な農産品の生育を促します。



肥沃な大山の土で育った野菜



# ふるさと名物の内容

## 3

### 関連する地域資源②



#### ◆ブロッコリー

肥沃な土と清き水が育む大山町の農産物は、まさに「大山の恵み」そのもの。特に地域団体商標にも登録されている「大山ブロッコリー」は、その品質の高さから大山町が全国に誇る名品です。



#### ◆梨（二十世紀梨）

大山町は、梨作りが盛んな鳥取県内でも有数の産地です。従来は広く二十世紀梨が生産されてきましたが、現在では二十世紀梨のほかに日本一の生産量を誇る「新甘泉」や「王秋」といった新品種が全国の市場で高い評価を得ています。

#### ◆白ネギ

農産品としては、ブロッコリーや梨と並ぶ大山町の特産品です。畑で採れたばかりの白ネギは驚くほどの甘さです。畑の「黒」とネギの「白」の対比も、大山の畑ならではの見どころです。



#### ◆乳製品

かつて牛馬市が栄えたように、大山は優れた牛馬が集まる場所であり、裾野に広がる牧野は牛馬の育成に適した土地でもありました。現在でも大山北麓を間近に見上げる香取地区では多くの乳牛が飼育され、飲むヨーグルトなどの加工品として製造・販売されています。

#### ◆サザエ

日本海に流れ込み、又は、海底から湧き出す大山の伏流水は、ワカメやアカモクなどの海藻類を育みます。「獲っても獲っても湧いてくる」とまで言われるサザエは、「大山の恵み」をいただいた海の幸を代表する地域資源です。





# 大山町の取り組み

## 1

### 独自の支援策

#### ◆大山町未来づくり10年プラン（大山町総合計画）

平成28年に策定した「大山町未来づくり10年プラン（大山町総合計画）」では、地域資源を活かした体験型観光のプログラム設定と環境づくりを基本計画としています。計画に基づき事業者に対する支援を充実していきます。

#### ◆ガイドの充実・育成

案内拠点での大山に関するガイドの充実、ボランティアガイドの育成等、人材育成に関する支援を行います。

## 2

### 広報

#### ◆情報発信

町のホームページでの掲載や町報への掲載はもとより、発表にあたってはプレスリリースを実施するなど、あらゆる機会をとらえてふるさと名物をPRします。



春の大山北壁



鍵掛峠から望む秋の大山南壁



大山宝牛（撫牛）